

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-43	中学校	道徳科	道徳	第3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	道徳 017-92	中学道徳3 とびだそう未来へ		

1. 編修の基本方針

「学びのチカラで 人と社会を 未来へつなぐ」

自ら問い、考え続け、社会を創っていく子どもたちを育てたい。
そのような思いをこめて、私たちはこの教科書をつくりました。

編修に際しては、以下の3つの工夫を施しました。



特色 1



魅力ある多様な教材で生徒を「学びの主体」に！

生徒が主役となり、自ら学びに向かう道徳授業づくりを叶える教科書を目指しました。定番教材や今日的な社会課題を扱った新しい教材、多様な学び方ができる教材を用意しています。生徒の主体的な学びを促し、道徳性を育みます。

特色 2



考えたくなる！ 話し合いたくなる！

問題や葛藤を「どうすればよいか」、自分ごととして考え、話し合いたくなる教材を豊富に掲載しています。言語活動を中心とした教材など、論理的思考を促す活動や協働学習によって道徳的諸価値について多面的・多角的に考えられるようにしています。

特色 3



道徳科の学びを生徒のウェルビーイングへつなげる！

生徒の自己肯定感を高める、未来志向の教材を積極的に掲載しています。多様な人物の生き方に触れ、自分なりの生き方を考えたり、授業で学んだことを、どのようにいかすか考えたりすることで、生徒のウェルビーイングへつなげていきます。

特色 1 魅力ある多様な教材で生徒を「学びの主体」に！

誰もが取り組みやすく、生徒が主役となる道徳授業づくりのために、教材は内容把握のしやすさを大切にしています。

1 自分の思い・相手の思い



山は、きょうろい（熊）がすんでいて、山できょうろい（熊）と人（ひと）がぶつかり、けがをすることがある。おそろい（おそろい）なもの、きょうろい（熊）と人（ひと）は、おそろい（おそろい）なものである。

自分の思い、相手の思い

山は、きょうろい（熊）がすんでいて、山できょうろい（熊）と人（ひと）がぶつかり、けがをすることがある。おそろい（おそろい）なもの、きょうろい（熊）と人（ひと）は、おそろい（おそろい）なものである。

1 自分の思い・相手の思い

自分の思い、相手の思い

山は、きょうろい（熊）がすんでいて、山できょうろい（熊）と人（ひと）がぶつかり、けがをすることがある。おそろい（おそろい）なもの、きょうろい（熊）と人（ひと）は、おそろい（おそろい）なものである。

絵本、写真、漫画など、わかりやすく生徒の興味・関心を高める多様な教材を取り入れました。自ら学びに向かう意欲を喚起します。



「自分の思い・相手の思い」 p.8-13
一方的な決めつけをせずに相手を理解しようとする気持ちをもつことの大切さを考えます。

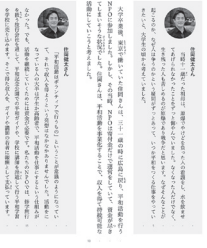
定番教材と新教材をバランスよく取り入れています。

28 足袋の季節



足袋の季節

16 平和をつなぐ



平和をつなぐ

「足袋の季節」 p.150-153
他者から受けた善意に気づき、感謝の心をもって接する生き方について考えます。

「平和をつなぐ」 p.92-97
激動する世界情勢の中で、平和を守り続けることの尊さをあらためて考えます。

新しい教材は、今日的な社会課題を扱った質の高い読み物教材を厳選しました。



多様な学び方とおして生徒の道徳性を育みます。

問題解決的な学習に適した教材

26 家族の思いと意思表示カード



家族の思いと意思表示カード

体験的な学習に適した教材

18 校長先生の模擬面接



校長先生の模擬面接

「家族の思いと意思表示カード」 p.140-141
異なる立場や意見を理解し、自分の考えを深めます。

「校長先生の模擬面接」 p.104-107
「やってみよう」 p.107
役割演技やケーススタディ的に演じる活動を取り入れることができます。

特色 2

問題や葛藤を「どうすればよいか」、対話を促す工夫をしています。

つながり食って生きる

人
と
地
球
を
つ
な
が
り
し
て
い
く
。

17

変わりゆく地球

あなたはどんな時に、
地球のかけがえのないさを感じてるだろうか。

98

① 消失する森林（ボリビア 左：1986年、右：2022年）
開発によって広大な森林地帯が失われ続けている。

② 干ばつ（ケニア 2022年）
深刻な干ばつが続く中、畜産や地域が壊れている。

【1】 春〜夏の空の中から、気になった写真を「校通び」その理由を書きましょう。

写真	理由

【3】 未来の地球がどんなから幸せを感じられるでしょうか。その理由も一緒に書いてみましょう。

未来の地球の姿	理由

【2】 別の写真を選んで人たちに、それぞれが気になった理由を話してみましょう。

私は夢を選んだよ。
理由は……。

僕が夢を選んだ
理由はね……。

「より多くの生物が
幸せに暮らせる地球」
について考えてみてみ
いかも。

「最悪の未来」を
想像して、そこから
逆算してどうすれば
いいかを考えて
みてほしいね。

100

「変わりゆく地球」 p.98-101

自分の考えを整理したり、他の人の考えと比べたりする言語活動をとおして、「自分なりのこたえ」を導き出します。



視覚をとおして感じたことを
言語化し、互いに伝え合うこ
とで思考を論理的に構造化し
ていきます。

特色 3

これからの生き方を前向きに考えることができる未来志向の教材を掲載しています。

[illegible]

人物の生き方に学ぶ

多様な人物の生き方に触れ、
自分なりの生き方を考える
ことを促します。



「藤井聡太の学び方」 p.14-17

師匠から見た藤井さんの姿を通して、自ら進化していこうとする意欲を育てます。

情報モラル

[illegible]

コラム「歩きスマホについての意識調査」 p.75

「歩きスマホをどうするか」 p.72-74

人權

[illegible]

コラム「誰もが自分らしく」 p.44-45

「あなたは顔で差別を
しますか」 p.38-43

現代的な課題を考える
防災や人権、情報モラル、SDGs等について、道徳科の特質を踏まえて考える教材を掲載しています。コラムを活用して学びを深めます。



2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	第2条との対照	該当ページ
巻頭詩	豊かな情操と道徳心を培い、個人の価値を尊重してその能力を伸ばし、創造性を培います。	第1号、第2号	表2、p.1
さあ、道徳を始めよう！	豊かな情操と道徳心を培います。	第1号	p.4-6
14 償い			p.82-85
19 カーテンの向こう			p.108-113
30 もう一つの時間			p.160-164
12 歩きスマホをどうするか	豊かな情操と道徳心を培うとともに、正義と責任を重んずる態度を養います。	第1号、第3号	p.72-74
28 足袋の季節	豊かな情操と道徳心を培うとともに、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養います。	第1号、第3号	p.150-153
2 藤井聡太の学び方	個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培う態度を養います。	第2号	p.14-17
7 昨日より今日、今日よりも明日			p.46-49
22 ひび割れ壺			p.122-123
27 片足のアルペンスキーヤー・三澤拓			p.144-149
9 父のひと言	自主及び自律の精神を養います。	第2号	p.56-61
31 駐車場係として			p.166-169
20 専門家であること	自主及び自律の精神と、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養います。	第2号	p.114-117
5 卒業文集最後の二行	正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養います。	第3号	p.30-35
24 抗議する選手たち			p.132-135
15 美佐の進路	男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養います。	第3号	p.86-91
1 自分の思い・相手の思い	自他の敬愛と協力を重んずる態度を養います。	第3号	p.8-13
3 僕は友達を裏切ったのか？			p.18-25
6 あなたは顔で差別をしますか			p.38-43
11 テーブルの卵焼き			p.66-71
18 校長先生の模擬面接			p.104-107
29 旅立ちの日に	自他の敬愛と協力を重んじ、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養います。	第3号	p.154-159
13 二通の手紙	公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養います。	第3号	p.76-81
21 若者議会			p.118-121
32 憧れの消防団			p.170-175
16 平和をつなぐ	公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。	第3号、第5号	p.92-97
4 いのちの花プロジェクト	生命を尊ぶ態度を養います。	第4号	p.26-29
26 家族の思いと意思表示カード			p.140-141
17 変わりゆく地球	生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養います。	第4号	p.98-101
25 サルも人も愛した写真家			p.136-139
34 琵琶湖とともに			p.180-183
35 カムイモシリとアイヌモシリ			p.184-187
8 昇き縄	伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養います。	第5号	p.50-55
10 無限の道			p.62-65
33 世界に誇る「BONSAI」			p.176-179
23 あふれる愛	生命を尊び、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。	第4号、第5号	p.124-131
「よりよく生きる」って、どういうことだろう？	豊かな情操と道徳心を培います。	第1号	p.188-189

3. 上記の記載以外に特に意を用いた点や特色

学習・指導への配慮

人権上の配慮

人種や障がいの有無、身体的特徴、家庭の社会的背景にかかわらず、お互いの個性やよさを認め合い、ともに楽しく学んでいくことができるように留意しました。教材の内容や使用している用語・表現については、専門家による校閲を受け、人権に十分配慮したものにしています。教材の登場人物やイラスト・写真については、性別による偏りがないように配慮しています。

特別支援教育への配慮

専門家による校閲を受け、すべての生徒の学びを保障する「ユニバーサルデザイン」の観点に立って編修しています。

◎カラーユニバーサルデザイン

色調のバランスだけでなく形の上でも区別しやすいように配慮したり、色による指示を含んだ設問や色に基づく活動を避けたりして、色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。

◎ユニバーサルデザインフォントの使用

紙面でもデジタル画面でも視認性の高い、ユニバーサルデザインフォントを使用しています。

◎文節改行

教材の発問やキャラクターのセリフでは、言葉のまとまりを捉えやすくするため、文章の改行位置に配慮しています。

カリキュラム・マネジメントへの対応

学校における道德教育の要として、他教科や総合的な学習の時間、特別活動、学校行事、年中行事などとの関連を図った学習計画が立てやすくなっています。

また、学年の教材を本教材30本＋補充教材5本で構成しており、地域や学校で設定した重点課題などに取り組むなどの柔軟なカリキュラム編成が可能な教材構成です。

ESD・SDGs への取り組み

現代社会が抱えるさまざまな問題について、子どもたち一人一人が自ら課題を発見し、思考し、持続可能な社会の形成に積極的に関わっていこうとする意欲を高める教材や資料を掲載しています。取り扱い内容については専門家による校閲を受けています。

デジタル機器を使用した学習への配慮

「まなびリンク」との連動

学習に役立つ情報（教材解説、関連動画、外部リンク）を「まなびリンク」として弊社ウェブサイトに掲載しています。教科書内の二次元コードからアクセスし、それを活用することにより、教材の学習効果をより高めることが期待できます。

個別学習、協働学習、家庭学習それぞれの場面に応じた活用をすることで、生徒の理解や主体性、学び合いの意欲を高めることができます。



デジタル教科書・教材の発行

教科書と同内容で特別支援に資する機能を備えた学習者用デジタル教科書や、朗読音声や資料を追加した学習者用デジタル教材・指導者用デジタル教科書（教材）を発行する予定です。

学習者用端末等の活用

学習者用端末等を効果的に活用できる学習活動を設定しています。学びの個別最適化や協働学習にも効果的です。

造本・装丁での配慮

製本

製本は、長期間の使用に耐える堅牢な方式を採用しています。

表紙・用紙・印刷

表紙は堅牢で環境に配慮した特殊コーティングを採用、紙は軽量ながら裏写りのない再生紙を使用、印刷は植物を原料とした植物油インキを使用しています。



編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-43	中学校	道徳科	道徳	第3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	道徳 017-92	中学道徳3 とびだそう未来へ		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色 1 魅力ある多様な教材で生徒を「学びの主体」に！

生徒の発達段階や学校生活の実態に沿った教材配列で効果的な学びの流れにしています。
複数の教材を組み合わせたユニット（単元）で、より深い学びをつくります。

いのちをかがやかせる 30 もう一つの時間 29 旅立ちの日 28 足跡の季節 27 片足のアレンスキーヤ・三澤拓 26 家族の思い出を語り継ぐ 25 サルも人も愛した真家 24 抗議する選手たち 23 あふれる愛 22 ひびき渡る 21 若者議会 20 専門家であること 19 カーテンの向こう 18 校長先生の胸の奥 17 変わりゆく地球 16 平和をつくる 15 美の道 14 美しい 13 二通の手紙 12 歩みスボをどうするか 11 テーブルの輝き 10 無限の道 9 父の心 8 母の心 7 昨日より今日 今日より明日 6 あたは顔で差別をしますか 5 卒業文集最後の一行 4 いのちの花プロジェクト 3 僕は友達を失ったのか 2 藤井太の学び方 1 自分の思い・相手の思い この教科書で学べるテーマ さあ、道徳を創ろう！	3年 目次 31 卒業文集最後の一行 30 藤井太の学び方 29 僕は友達を失ったのか 28 いのちの花プロジェクト 27 卒業文集最後の一行 26 あたは顔で差別をしますか 25 昨日より今日 今日より明日 24 母の心 23 父の心 22 無限の道 21 テーブルの輝き 20 歩みスボをどうするか 19 美しい 18 二通の手紙 17 家族の思い出を語り継ぐ 16 サルも人も愛した真家 15 抗議する選手たち 14 ひびき渡る 13 若者議会 12 カーテンの向こう 11 校長先生の胸の奥 10 変わりゆく地球 9 平和をつくる 8 美の道 7 美しい 6 二通の手紙 5 歩みスボをどうするか 4 テーブルの輝き 3 無限の道 2 父の心 1 母の心 この教科書で学べるテーマ さあ、道徳を創ろう！
--	---

重層的に学びを深める

複数の教材とコラムを組み合わせたユニットを設けました。
ユニットごとに設定した大きな主題について重層的に考えることで、学びを深めます。

本教材30本+補充教材5本の編成で、柔軟なカリキュラム編成が可能です。

「目次」p.2-3

【いじめをなくそう】

いじめを生まない、なくすためには何が必要か、継続して考えていきます。

【つながり合って生きる】

多様な人々や自然環境との共生、持続可能な社会の在り方について考えます。

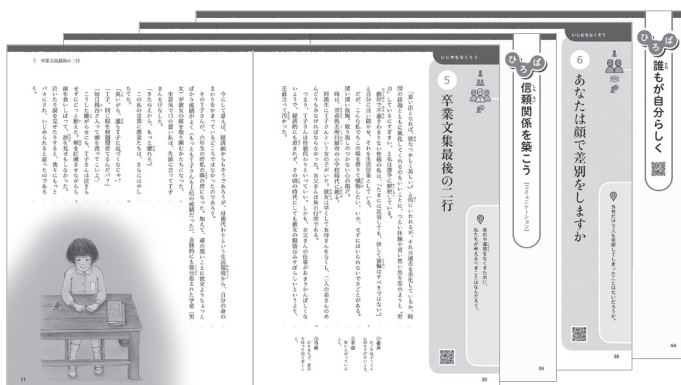
【いのちをかがやかせる】

自他の生命を大切に、自分らしく生きていくことについて深めます。



いじめをなくそう

いじめ予防の観点から年度の早い時期に配置しました。
ユニット学習によって、人間理解を深め、豊かな人間関係づくりについて実践的に考えていきます。



ユニット「いじめをなくそう」p.30-45

3年では、いじめを直接的に扱った定番教材と、筆者の生き方・考え方から考えるノンフィクションの教材を組み合わせて構成しています。

特色 2

巻頭のオリエンテーションで、もっと活発に、深く話し合うためのポイントをつかめるようにしています。

つなぐ
深める
考え、話し合う
問題に気づく

5

学生だときめられる
先生だときめよう。

4

話をきくだけでなく、
考えをきくのもいい。

3

自分の考えをきくのもいい。
友達と意見をきくのもいい。
多様な考えを知ろう。

2

考えたいことは、
何かに書くこともいい。

1

考えたいことは、
何かに書くこともいい。

話し合いのポイント

● 考えの持ち方

教材から感じたことを自分の思い
かけて、書き出してみよう。

● 友達の意見の聞き方

相手の話を最後まで聞く。うわや
らなことを指摘したりするのは
置いといて、きいてみる。

だうやってきくの？

さあ、道徳を始めよう！

生徒の日常生活で直面することが多い場面を取りあげ、考えてみたいという意欲を高めます。



「さあ、道徳を始めよう！」 p.4-6

教材冒頭の「導入」を活用することで、生徒と教師がともに考えていくことができます。

教材末の3つの発問を活用することで、道徳的価値について段階的に深めていくことができます。

学習の視点

アイコンと帯の色で、
本時の学習が学習指導要領に示されたどの視点なのかを表現しています。

まなびリンク

二次元コードから、
学習を支援するさまざまなコンテンツにアクセスできます。

13 二通の手紙

どんな場合でも、きまりは優先されべきなのだろう。

「だめだと云ったらだめだ」

「どうしてですか。かわいそうじゃないですか。僕、入てあげますよ。」

「おまえが言わないのなら俺が言う、そこをくだん。」

立ちはだかる山田を押しつけて、佐々木は悪口に顔を出した。

申し訳ございません。お客様、あいにくたつた今、入場券の販売を終了いたしましたので、規則上お入れするわけにはまいりません。またのご来園をお待ちいたしております。」

高校生くらいだろうか、流行のファッションに身を包んだ二人組の若い女の子たちは、佐々木の言葉に不服な顔をしながらもきびすを返して去っていった。

この市営動物園の入園終了時刻は、午後四時、今條かに数分を回ったところだった。
「まったく、佐々木さんは頭が固いんだから、二、三分過ぎたらさうやってどうしたっていうんですよ。今日はまだずいぶん客が入っているんですよ。」

「おまえがかいそいだと思う気持ちわかる。しかしまあ待て、俺の話聞いてくれなにか。」
そう言うと佐々木は、何かを思い出するように、ゆっくりと話し始めた。

「佐々木さん、子どもたちになにごともなくてよかった。私の無責任な判断で、万が一事故でもなっていたらと思う……この年になって初めて考えさせられるとはかりです。この二通手紙のおかげですよ。また、新たな出発ができそうです。本当にお世話になりました!」

元さんの姿に失望の色はなかった。それどころか、暗れ暗れとした顔で身のまわりを片づけ始めたのだった。

その日をもって元さんは自ら職を辞し、この職場を去っていくんだ。
今日のようなことがあると、元さんのあの日の言葉がよくあてはまるんだ。

佐々木は、意越しに園内を眺めながら最後の言葉をつぶやくように言った。
「茅園のお客様に閉園時刻のお知らせをいたします。……!」
ちょうどその時、退園を促す園内アナウンスが流れ始めた。

文 白みかどろ

学びの道しるべ

- ◀ 元さんが暗れ暗れとし顔で身のまわりを片づけ、職場を去っていくのはなぜだろう。
- ◀ 姉弟を人懐かせた元さんの判断を、あなたはこう思うだろうか。
- ◀ きまりや法は、なんのためにあるのだろう。

13 二通の手紙

81

76

「二通の手紙」 p.76-81

「学びの道しるべ」(手引き)

- 教材をもとに道徳的価値について問題意識をもつ問い
 - 自分ごととして、多面的・多角的に考える問い
 - 自己を振り返り考えを深める問い
- の3問で構成しています。

導入

ねらいとする道徳的価値へ意識づけたり、学習テーマを共有したりすることで対話的な学びを創出します。

体系的な学びで生徒の確かな心の成長を促します。

他の学習活動との関連を図り、学びを広げるために、さまざまな工夫を施しました。

21 若者議会

日本では、選挙のたびに若者の投票の率が話題になります。この問題は政治にあるのでしょうか、それとも若者にあるのでしょうか。日本若者は、このまま、社会の一員として政治に関与する機会を失っていくのでしょうか。

そんなことを考えたとき、若者が主体的に参加する機会、若者の意見が反映される機会、若者の参加がもたらす効果について考えてみることにしました。

若者議会は、新城市で実施されている若者の政治参加の場です。年齢制限は18歳以上、20歳未満の若者で、1年間、毎月1回、18歳以上の若者が参加します。

議会は、新城市若者議会、新城市若者議会（以下、若者議会）と称します。若者議会の開催は、毎月1回、新城市若者議会の開催日（以下、若者議会開催日）に開催されます。若者議会の開催は、新城市若者議会の開催日（以下、若者議会開催日）に開催されます。

若者議会の開催は、新城市若者議会の開催日（以下、若者議会開催日）に開催されます。若者議会の開催は、新城市若者議会の開催日（以下、若者議会開催日）に開催されます。

学校種間の接続

3年では、社会科（公民的分野）の学習や主権者教育と連携させやすく、高等学校での「公共」にもつながっていく教材を入れています。



「若者議会」 p.118-121

15 美佐の進路

進路選択の悩みをとおして、登場人物たちと友情について考えます。

美佐は、進路選択の悩みを抱えている。彼女は、自分自身についてよく考えてみたい。そして、自分自身についてよく考えてみたい。そして、自分自身についてよく考えてみたい。

美佐は、進路選択の悩みを抱えている。彼女は、自分自身についてよく考えてみたい。そして、自分自身についてよく考えてみたい。そして、自分自身についてよく考えてみたい。

美佐は、進路選択の悩みを抱えている。彼女は、自分自身についてよく考えてみたい。そして、自分自身についてよく考えてみたい。そして、自分自身についてよく考えてみたい。

生徒とともに成長する3学年での連作教材

登場人物が抱く葛藤は学年を追って変化していきます。

生徒が共感し、自分ごととして考えやすい内容で新たに作成しました。



「美佐の進路」 p.86-91
進路選択の悩みをとおして、登場人物たちと友情について考えます。

**学びをつなげ
いかすために**

道徳科の学びを統合して、これからどのように生きていきたいか考えていきます。



「よりよく生きる」を考える

「『よりよく生きる』って、どういうことだろう？」
p.188-189

1年間の学習の集大成として、「よりよく生きる」とはということかを考え、表現する活動を取り入れました。

道徳科の学びを振り返る

「道徳科の学びを振り返ろう」（巻末付録）
「1年間の道徳科の学びを振り返ろう」（巻末付録）

学期末、学年末に活用することで自分の学びを振り返り、成長を実感することができます。学びの見取りにも最適です。



検討の観点と内容の特色

検討の観点	特に留意した内容
教育基本法の順守	教育基本法（第2条）に示されている目標を達成するために、魅力ある多種多様な教材で、主体的に考え、対話を通して深めていく道徳授業を実現し、生徒の心の成長を促すようにしています。 全体
学習指導要領の順守	- 中学校学習指導要領（道徳）に示されている内容項目については、各学年においてバランスよく全ての項目を取り上げています。 - 物事を広い視野から多面的・多角的に考えたり、道徳的価値を自分との関わりで深めたりすることができる多種多様な教材を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てられるようにしています。 全体
「主体的・対話的で深い学び」への対応	- 内容把握がしやすい短めの教材、漫画や写真、絵本などを用いた理解しやすい教材を、積極的に掲載しています。教材の読み取りに偏ることなく、じっくり考え、話し合うことができます。 - 教材を生徒が自分に引きつけて考えることを促す教材冒頭の「導入」で、ねらいとする道徳的価値への意識づけをし、主体的な学びをつくります。 - 自分の考えを表現したり、他者と考えを交流させたりする言語活動を重視しています。また、「問題解決的な学習」や「体験的な学習（モラルスキルトレーニング、役割演技）」などの多様な指導方法を効果的に取り入れています。 - 教材末の「学びの道しるべ」（手引き）で、構造化した3つの問いによって、教材を足がかりにしながら道徳的価値について段階的に深めていけるようにしています。 - 学年末の「『よりよく生きる』って、どういうことだろう？」のページで、1年間の道徳科の学びをこれからの生き方にいかし、生徒それぞれのウェルビーイングの実現につなげていくことができるようにしています。 全体
構成・配列・分量	- 教科書全体は、「さあ、道徳を始めよう！」「本教材とコラム」「補充教材」「『よりよく生きる』って、どういうことだろう？」で構成しており、1年間の学習の流れが見通せるようになっています。 - 教材は、「学習の視点」「導入」「教材文」「学びの道しるべ」（手引き）で構成しており、1時間の流れがわかりやすく示されています。 - 各教材は、他教科や総合的な学習の時間、特別活動、学校行事と連携しやすい時期に配置し、横断的な学びを通して学習効果が高まるようにしています。 - 全学年を通して、生徒の発達段階を意識し、教材内容を精選し、じっくりと考えたり対話を通して深めたりする時間が十分とれるようにしています。 - 本教材30本＋補充教材5本の構成で、学校の重点目標や地域の実態に応じた柔軟なカリキュラム編成がしやすくなっています。 全体
いじめ問題への対応	道徳科の最重要課題であるいじめ問題への対応については、複数教材とコラムからなるユニットを設定し、多様な側面から連続して学ぶことで考えを深めていけるようにするとともに、学年全体を通して、適切な教材を配置しています。 p.30-35、p.36-37、p.38-43、p.44-45、p.124-131、p.132-135
人権教育への対応	人権教育の専門家による校閲を受け、差別をなくし、ジェンダーや性的多様性、マイノリティなどについても理解が深められるようにしています。 全体
ESD、SDGsへの対応	「持続可能な社会の創り手」となる意識を高められるよう、複数教材とコラムからなるユニットを設定し、多様な人々や地球環境との共生について考え、深められるようにしています。 - 取り扱い内容は、専門家による校閲を受け、積極的にESDやSDGsに取り組めるようにしています。 p.30-35、p.38-43、p.46-49、p.50-55、p.72-74、p.92-97、p.98-101、p.102-103、p.118-121、p.124-131、p.132-135、p.136-139、p.144-149、p.170-175、p.180-183、p.184-187
今日的な課題への対応	今日的な課題である「情報モラル」「防災」などは、教材に加えてコラムでも扱い、学びを深めることができるようにしています。また、世界情勢の変化を鑑みて、「平和」について深く考えられるようにしています。 p.72-74、p.75、p.92-97、p.170-175
家庭や地域社会との連携	「家庭と自分との関わり」や「地域の人たちと自分との関わり」について考える教材を掲載し、家庭や地域の人も、対話的な学びができるようにしています。 p.50-55、p.66-71、p.118-121、p.170-175、p.176-179、p.180-183、p.184-187
評価への対応	- 巻末付録の「道徳科の学びを振り返ろう」「1年間の道徳科の学びを振り返ろう」を活用することで、生徒の成長を見取り、評価に生かすことができるようにしています。 - 教材ごとの学びの記録には、教師用指導書のワークシートが活用できます。1時間ごとの評価、継続的な見取りなど、きめ細やかな評価が可能です。 巻末付録
デジタル機器を活用した学習への配慮	- 教材の冒頭や末尾に設けた二次元コードを通じて、教材の理解を助ける「教材解説」や動画、学びを深めたり、広げたりできる「外部リンク」などのデジタルコンテンツを活用できるようにしています。 - 教科書冒頭の「道徳科の学びをもっと広げよう」で、学習者用端末の効果的な活用場面・方法を示し、生徒の個別最適な学び、協働的な学びを促しています。 全体
特別支援教育への配慮	- 特別支援教育の専門家の校閲を受け、学習上支援が必要な生徒にとっても紙面全体が読みやすく、わかりやすい紙面構成にしています。 - 色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。 - 本文書体には、見やすく読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用しています。 全体
印刷・製本	- 環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用し、表紙には抗菌加工を施しています。 - ページ数を抑え、用紙を軽量化することで生徒の身体的な負担を軽減しています。 - 製本には、あじろ綴じを用い、長期間の使用に耐えられる堅牢なつくりをしています。 全体

2. 対照表（学習指導要領との対照表、配当授業時数表）

図書の構成・内容	学習指導要領の内容		該当 ページ	配当 時数
	視点	内容項目		
巻頭詩			表2、p.1	
さあ、道徳を始めよう！		内容項目を限定しない	p.4-6	
1 自分の思い・相手の思い	B	相互理解、寛容	p.8-13	1
2 藤井聡太の学び方	A	向上心、個性の伸長	p.14-17	1
3 僕は友達を裏切ったのか？	B	友情、信頼	p.18-25	1
4 いのちの花プロジェクト	D	生命の尊さ	p.26-29	1
5 卒業文集最後の二行	C	公正、公平、社会正義	p.30-35	1
信頼関係を築こう			p.36-37	
6 あなたは顔で差別をしますか	B	相互理解、寛容	p.38-43	1
誰もが自分らしく			p.44-45	
7 昨日より今日、今日よりも明日	A	真理の探究、創造	p.46-49	1
8 昇き縄	C	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	p.50-55	1
9 父のひと言	A	自主、自律、自由と責任	p.56-61	1
10 無限の道	C	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	p.62-65	1
11 テーブルの卵焼き	C	家族愛、家庭生活の充実	p.66-71	1
12 歩きスマホをどうするか	A	節度、節制	p.72-74	1
歩きスマホについての意識調査			p.75	
13 二通の手紙	C	遵法精神、公德心	p.76-81	1
14 償い	D	よりよく生きる喜び	p.82-85	1
15 美佐の進路	B	友情、信頼	p.86-91	1
16 平和をつなぐ	C	社会参画、公共の精神	p.92-97	1
17 変わりゆく地球	D	自然愛護	p.98-101	1
アラスカを見つめ続けて			p.102-103	
18 校長先生の模擬面接	B	礼儀	p.104-107	1
やってみよう			p.107	
19 カーテンの向こう	D	よりよく生きる喜び	p.108-113	1
20 専門家であること	C	勤労	p.114-117	1
21 若者議会	C	社会参画、公共の精神	p.118-121	1
22 ひび割れ壺	A	向上心、個性の伸長	p.122-123	1
23 あふれる愛	C	国際理解、国際貢献	p.124-131	1
24 抗議する選手たち	C	公正、公平、社会正義	p.132-135	1
25 サルも人も愛した写真家	D	自然愛護	p.136-139	1
26 家族の思いと意思表示カード	D	生命の尊さ	p.140-141	1
命の尊さについて考えよう			p.142-143	
27 片足のアルペンスキーヤー・三澤拓	A	希望と勇気、克己と強い意志	p.144-149	1
28 足袋の季節	B	思いやり、感謝	p.150-153	1
29 旅立ちの日に	C	よりよい学校生活、集団生活の充実	p.154-159	1
30 もう一つの時間	D	感動、畏敬の念	p.160-164	1
31 駐車場係として	A	自主、自律、自由と責任	p.166-169	1
32 憧れの消防団	C	社会参画、公共の精神	p.170-175	1
33 世界に誇る「BONSAI」	C	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	p.176-179	1
34 琵琶湖とともに	D	自然愛護	p.180-183	1
35 カムイモシリとアイヌモシリ	D	感動、畏敬の念	p.184-187	1
「よりよく生きる」って、どういうことだろう？		内容項目を限定しない	p.188-189	
			合計時数	35

* 4つの視点

A 主として自分自身に関すること

B 主として人との関わりに関すること

C 主として集団や社会との関わりに関すること

D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

■ はユニットを示す。